

1 東明小学校グランドデザイン

「日本一幸せな学校」を目指して

学校の教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる子供の育成

本年度の重点

自律・協力・挑戦

学校運営方針

○幸せを実感できる学校づくり

学校で生活する全ての人（児童・教職員）が夢や希望をもち、その実現に向けて努力できるよう安心・安全な環境となるよう配慮し、一人一人がそれぞれの幸せを実感できる学校づくりに努める。そのために、「他人がいやがることをしない。言わない」のルールを決める。これだけは守るよう徹底する。（いじめ防止基本方針、カウンセリング週間等）そして、児童の確かな成長を保護者や地域住民と共に喜び、学校に関わる全ての人々が幸せを感じられるように努める。そのために、児童を適切に評価し、成長を保護者や地域住民にこまめに伝える。（連絡帳、学年だより、学校だより、ホームページ等）

○チームとしての学校づくり

児童の豊かな学びを実現するために教職員一人一人がよさを発揮し、組織的に指導・支援にあたる。そのために、専門家や学習支援ボランティア等と連携して学習活動を行う。さらに、障害のある児童・外国籍の児童等、特別な配慮を必要とする児童の指導にあたっては、専門能力スタッフ・関係機関等と連携して児童理解に努めるとともに、課題の解決・改善にあたる体制を整備する。そのために、情報共有、情報蓄積を確実にを行う。（個別の指導計画、個別の教育支援計画、SC・SSW活動記録等）

○地域と共にある学校づくり

教職員の理解の下、保護者・地域と連携して教育活動を進め、信頼される学校づくりに努める。また、地域の自然、物的・人的資源を活用することで、児童が地域のよさに気付き、身の回りの人々に感謝の気持ちをもてるように留意する。そのために、教育活動に自然や社会の現実に触れる直接体験を積極的に取り入れる。（校区内オリエンテーリング、町探検、農業体験等）また、組織の一員、地域の一員として貢献しようとする気持ちを育てる。そのために、縦割り活動等、仲間と関わる場を積極的に設定する。（ハッピータイム、縦割り清掃、にこにこ集会等）

目指す子供像とアクションプラン

自分で考える子供	友達と協力する子供	目当てをもって挑戦する子供
<p>○いろいろなジャンルの本に親しみながら読書量が増えるよう読書カードの工夫や図書室環境の整備を行い、興味をもって読書する機会を設ける。</p> <p>○話型や聞型を示し日常的に活用して伝え合う活動ができるようにし、話す力や聞く力を高める。 (読書をするのが楽しいと感じている子供90%以上) (設定目標冊数を達成することができた子供90%以上) (「話し方名人」「聞き方名人」の表を基にして自分の考えを話したり、友達の話を聞いたことができた子供90%以上)</p>	<p>○児童会活動を核にしてあいさつ運動を行ったり、「あいさつ名人カード」を渡して認めたりすることで、進んで挨拶することのよさを実感できるようにする。</p> <p>○各学級で「あったか言葉」について話し合ったことを掲示することで共通理解を図り、日常的に活用できるようにする。 (進んで挨拶をすることができた子供90%以上) (1日1回、学級で考えた「あったか言葉」を使うことができた子供90%以上)</p>	<p>○年間を通して、児童会活動で「〇〇名人」の取組を行い、設定した条件を達成した子供に名人認定カードを渡して頑張りを賞賛する。 (なりたい名人に向かって努力することができた子供90%以上)</p>